

テーマ: 『 地域の特徴を生かした米作りと環境教育 』

座間市立 入谷小学校

Tel. 046-253-7211 担当者: 遠藤 節夫



■実践内容:

1. 地域の特徴を生かした栽培活動

(1) 米作り 開校以来、学校の近くに 5a の広さの田んぼを借り、餅米を作っている。本校の実施方法の特徴は、地域のボランティアに指導を受けながら全学年が稲作に関わる場所である。1年…落ち穂拾い(10月)、2年…案山子作り(9月)、3年…稲運び(10月)、4年…田植え(6月)、5年…稲刈り(10月)、脱穀(10月)、6年…はざ掛け(10月)、わら細工(12月)。12月には全校もちつき大会を行い、収穫の喜びを味わっている。

(2) 花の栽培活動 園芸委員会を中心に学年に応じて校地にある花壇やプランターに花を植えている。

2. 環境の浄化・保全活動

(1) ゴミの分別 各クラスに燃えるゴミ用、再利用の裏紙用、プラ用の3つの箱をおいてゴミの分別をしている。

(2) 各学年に応じた清掃奉仕活動 日常の清掃活動の他に、学期に1時間の特設、年間に1時間を道徳・学級活動として行っている。6年生は学校を出て児童がよく使う学校周辺の道路清掃を3月に行っている。

■実践成果:

入谷小では、米作りを教育活動の柱の一つとして心豊かな児童の育成をめざしている。米作りでは、代かき・田植え・稲刈り・脱穀など地域の方の支援を受けて行われるが、支援者からは児童とのふれあいを楽しんでいるとの声をいただいている。餅つき大会では68名の保護者の協力で各クラス1臼ずつ餅をつき、全児童が餅つき体験をし、感謝の気持ちを持っておいしく食べることができた。

園芸委員会や学年の活動で花壇やプランターを用意して花をたくさん栽培することができた。毎日水やりをしたり、草むしりをしたり、花の世話をすることで花の美しさを堪能するばかりでなく自然の大切さや自然を愛でる心を育むことができています。

ゴミの分別では美化委員会が活動しているが、各クラスから出るゴミの量が減っている。児童一人ひとりがゴミを分別をすることによって意識が高まっている成果である。また、美化委員会の呼びかけた「ペットボトルのキャップ集め」では児童がよく協力し大量のキャップが収集されている。

■実践ポイント:

伝統の米作りなど様々な体験活動を重視して進め、心豊かな児童を育成し、地域の環境を守る態度を育てていく。また、地域の人々の支援を受けることで、地域との連携を深め地域の良さ、伝統を受け継ぐようにする。